



第72回

学藝員のススメ

博物館の学芸員が、あれこれ語り倒すコーナー。



どうしゅんじ
洞春寺の瓦

山岡 裕子

山口県山口市にある臨済宗の洞春寺は、戦国大名・毛利元就の墓がある菩提寺です。元龜3(1572年)年に元就の孫の毛利輝元が、安芸国吉田城内に開基しました。毛利家が山口に移ったことに従い、明治4(1871)年に現在の場所に移ってきました。

この地には、室町時代に現在の山口県を中心に勢力を誇った大内家の菩提寺があり、山門、観音堂共に室町時代の建築で国の重要文化財に指定されています。写真の瓦は近年修理された



▲洞春寺の軒瓦

際に出た軒瓦のきがわらで、左側の「小巴」こどもえには毛利家の家紋の一文字三星が、「剣」と呼ばれる瓦の波部分の正面には、蓮の花と思われる模様が入っています。

博物館では、1月24日から毛利氏との歴史的つながりをひもとく特別展「寿 一 毛利家と共に一」を開催します。ぜひご覧ください。



博物館HPはこちら